

令和6年8月23日

「新発田市における薬用植物栽培振興の取組」

新発田市農林水産課

新発田市について



新発田市の概要

- ・ 人口：9万2,704人（R6.1月時点）
- ・ 面積：533.11km²
- ・ 新潟県北部に位置し、県都 新潟市と隣接



新発田市における農業

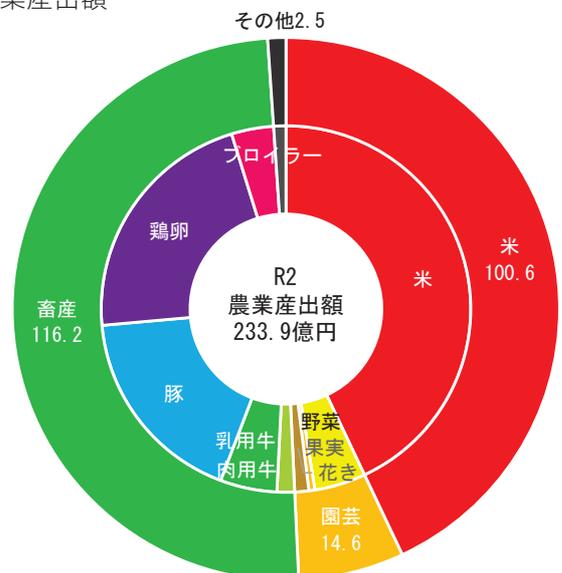
- ・ 農業は市の基幹産業の1つであり、他産業よりウエイトが高い
- ・ 農業の算出額では、稲作・畜産が大きな割合を占める

・ 産業ウエイト



R1年度新潟県市町民経済計算
特化係数 = 産業別構成比 ÷ 県平均

・ 農業産出額



R2年農林業センサス

新発田市における農業

- ・ 田 / 畑は市面積のうち22.3%を占める
- ・ H17合併により、山～海 多様な地形を有す

・ 新発田市面積割合

区分	面積	割合
田	100.53	18.9
畑	17.99	3.4
宅地	24.43	4.6
池沼	0.26	0.05
山林	65.29	12.2
牧場	0.23	0.05
原野	5.80	1.1
雑種地	11.28	2.1
その他	307.30	57.6
合計	533.11	100.0

・ 新発田市地区図



新発田市における農業

新発田産大粒越後姫

姫のてまり

新発田産越後姫のおいしさを
たくさんの人に伝えたい
その想いから
「姫のてまり」が誕生しました

新発田うまれ 新発田そだち
姫のてまりと申します

新発田産越後姫ブランドの活用推進実行委員会（事務局 新発田市林六本区） 電話 0254-93-3108

新発田産
究極の新発田産アスパラガス

ふとっパラ

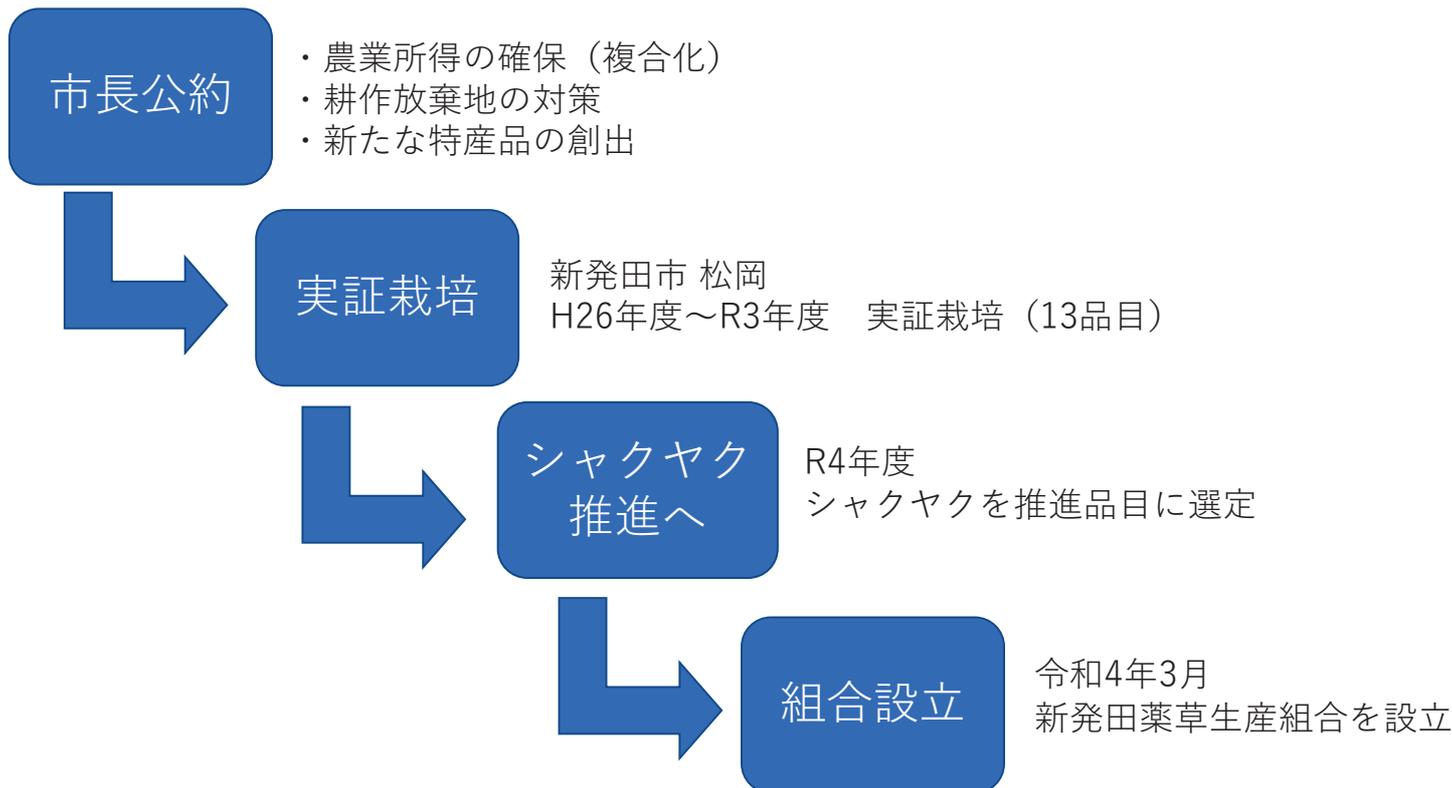
春に収穫される新発田産アスパラガスで、
条件を満たした極上アスパラガスのみを
「ふとっパラ」と命名しました。

太い 甘い 柔らかい

新発田牛

薬用作物の取組について

新発田市における薬用作物取組の経緯



取組の目的

・ 農業所得の確保（複合化）

- ⇒ 稲作中心の農業により米価下落の影響が大きい
- ⇒ コメ以外の選択肢を増やす

・ 耕作放棄地の対策

- ⇒ 人口減少により耕作放棄地の増加が見込まれる
- ⇒ 山間部においては獣害の影響も大きい

・ 新たな特産品の創出

- ⇒ アスパラガス、越後姫に次ぐ特産品として

新発田市松岡における実証栽培

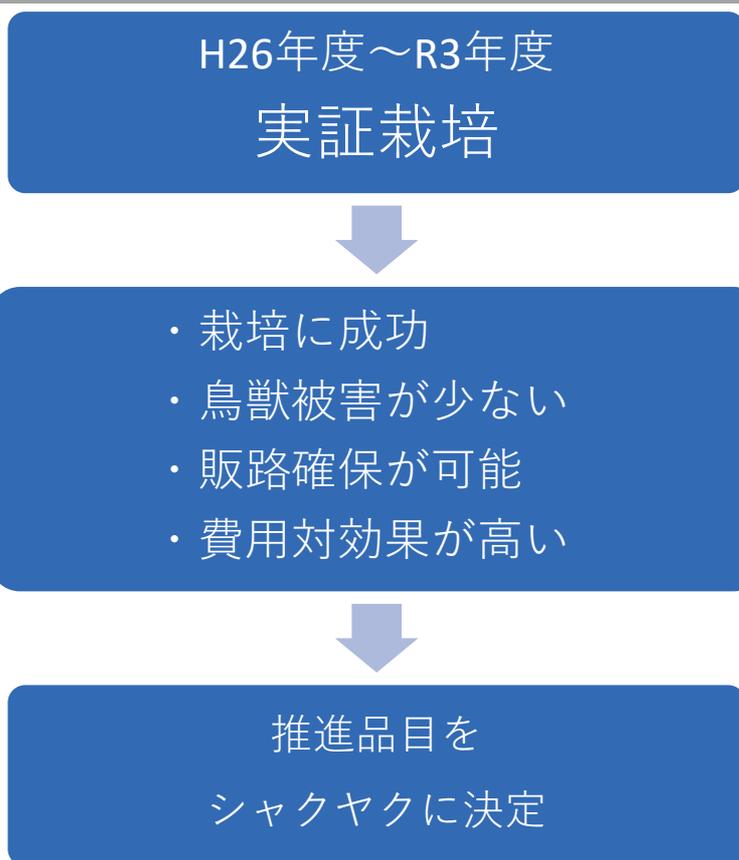
・ H26年～R3年 実証栽培面積 累計3.73ha



実証栽培 取組品目一覧 (H26年～R3年)

	品目名	概要
1	シャクヤク	産地化に向けた取組を実施中・切り花出荷を実証中
2	トウキ (ヤマトトウキ)	費用対効果を考慮し、R3取組終了
3	ホソバオケラ (ソウジュツ)	R6収穫をもって取組を終了予定
4	ハッカ (ホクト、地域在来)	種場とする。ホクト(2a)のみ 地域在来(3a)は作業性が悪いいため不要と判断
5	ミシマサイコ (サイコ)	H31 寒冷地における生産量・土質を加味し、取組終了
6	エビスグサ (ケツメイシ)	H31 寒冷地における生産量・土質を加味し、取組終了
7	カワラヨモギ (インチンコウ)	H31 寒冷地における生産量・土質を加味し、取組終了
8	カンゾウ	費用対効果を考慮し、取組終了
9	カラスビシャク (ハンゲ)	小規模の取組に向かないため取組終了
10	アミガサユリ (バイモ)	費用対効果を考慮し、取組終了
11	オケラ (ビャクジツ)	H27 定植 H29 秋改植・ホソバオケラに絞り、作付終了
12	ハマボウフウ	H27 発芽せず作付終了
13	ハトムギ	小規模の取組に向かないため取組終了

シャクヤク推進へ



【参考】H26～シャクヤクの導入品種一覧

	品種名	区分	花色	開花の 早晩性	ペオニフロリ ン成分 (%) R2県成果情報	ペオニフロリン 成分 (%) 市実証ほ	市内導 入実績	切花 出荷実績
1-1	ヤマトシャクヤク	薬用	白	早	-	4.3-5.5	H26～	無
1-2	ヤマトシャクヤク	薬用	主に白、赤	早	-	3.6-4.8	H30～	無
2	梵天	薬用	白	早	1.7-2.2	2.0-2.2	H27～	有
3	春の粧	園芸	薄ピンク	早	4.2-4.3	-	R1～	有
4	氷点	園芸	白	早中	3.2	-	R2～	有
5	夕映	園芸	赤ピンク	中	4.3	-	R1～	有
6	サラベルナール	園芸	ピンク	中晩	※3.0以上	-	R2～	有
7	滝の粧	園芸	薄ピンク	晩	5.0-5.5	-	R4～	無

※新潟県試験場の担当者からの聞き取り

新発田薬草生産組合について

設 立：令和4年3月29日

組合員数：令和6年7月末現在 23名（設立当初11名）

栽培品目：シャクヤク

栽培面積：令和5年12月末現在 3.18ha

※令和6年秋 約2.12ha定植予定

新発田薬草生産組合 栽培状況



- 中山間地域を中心に
市内各地でシャクヤクを栽培
- 取組者からは
鳥獣被害は少ないとの声
- 雑草対策として、黒マルチを
使用した栽培を推奨
⇒雑草との闘いに苦戦

シャクヤクの栽培状況

定植1年目 (R6年6月撮影)

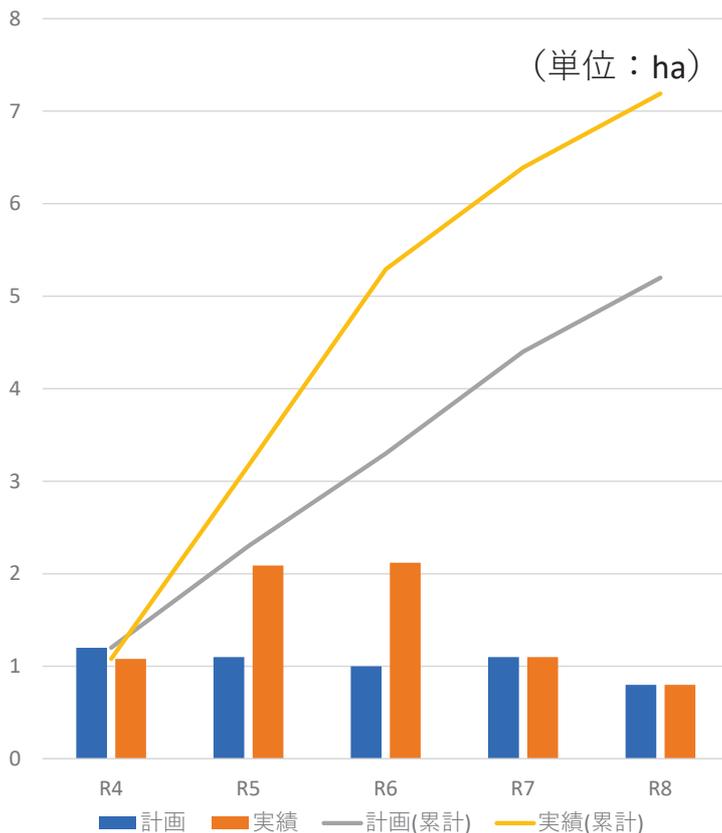


シャクヤクの栽培状況

定植2年目 (R6年7月撮影)



新発田薬草生産組合 作付計画/実績



	R4	R5	R6	R7	R8
計画 (単年)	1.20	1.10	1.00	1.10	0.80
実績 (単年)	1.08	2.09	2.12	-	-
計画 (累計)	1.20	2.30	3.30	4.40	5.20
実績 (累計)	1.08	3.18	5.29	-	-

市の支援状況

- ・ シャクヤクの面積拡大に対し
5万円/10a の支援（定植初年度のみ）
- ・ 産地交付金（水田活用直接支払交付金）の支援
- ・ 生産組合運営の事務的な支援
- ・ 契約メーカーとの交渉・調整
- ・ 鳥獣害（中山間）地域への推進
- ・ 取組者数の拡大に向けた呼びかけ

今後の課題

- ・ 取組者の継続的な確保
⇒毎年コンスタントに出荷できる体制を構築
- ・ 取組者の収入確保
⇒薬用シャクヤクの切り花出荷を検討中
- ・ 栽培技術のノウハウの蓄積
⇒組合員同士で技術を高める体制を構築